

## 秋田のまちの余白/空間に新しい価値を生み出す実験企画 『SPACE LABO 2020』の映像作品を秋田駅で公開します

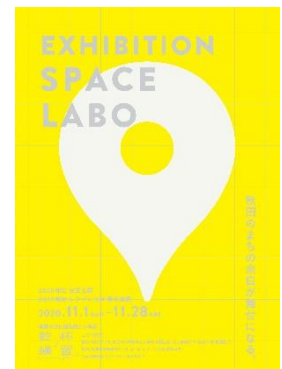
JR秋田支社では、秋田県・秋田市と締結した「地方創生に向けたコンパクトなまちづくりに関する連携協定」に基づき、秋田市主催の企画「SPACE LABO 2020」でクリエイターの表現スペースとして秋田駅改札上サインージと秋田駅ビル「トピコ」の壁面にて公開いたします。応募総数 33 の中から選ばれた 4 企画のうち、秋田駅で作品を公開するのは、現代芸術家の松田朕佳さんとファシリテーター・デザイナーの雨宮滯さんです。

秋田駅周辺へ足をお運びの際は、ぜひ映像をお楽しみ下さい。

### 1 「SPACE LABO 2020」概要

2021年3月に開館する新しい文化施設「秋田市文化創造館」のプレ事業“乾杯ノ練習”の一企画です。秋田のまちに生まれた余白/空間を、「新しい価値を生み出す実験的な場所」として見立て、実現したい企画を公募し、応募総数 33 の中から選ばれた 4 企画と、2019 年レジデンス賞受賞者の新作を、秋田市中心市街地やマスメディアを舞台に公開します。

- 会期：2020年11月1日（日）～28日（土）  
主催：秋田市  
企画：NPO 法人アーツセンターあきた  
協力：（2020年度 企画公開）ABS ラジオ、株式会社 OPA、  
東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社  
（2019年度 レジデンス賞 受賞者展）東北物産株式会社



※ 詳細につきましては NPO 法人アーツセンターあきたホームページをご確認ください。

### 2 映像作品について

タイトル 『 865mm×1578mm の 7 連サインージと 15m×7.5m のトピコの壁を水に浮かべる 』

#### ○作品概要

普段何気なくご覧いただいている秋田駅ビル「トピコ」の壁（15m×7.5m の長方形）ですが、船越海岸で集めた漂流物や地域の方からご提供いただいた材料で同じサイズの筏を組み立て、海で浮かべた様子をドローンで空撮し、その映像を「トピコ」と秋田駅改札上のサインージで投影します。見慣れたものが別の素材や用途に置き換わった時、その元となったものの見方も変わるのでは？ という実験的な作品です。

### ○クリエイターについて

松田 朕佳（まつだ ちか）

現代芸術家。2010年アリゾナ大学大学院 Fine Arts 修了。国内外のレジデンスを経て現在長野県在住。主に立体造形を制作。

雨宮 滯（あめみや みお）

ファシリテーター、プロセス&コミュニケーションデザイナー。個人と組織の変容プロセスの伴走者。千葉県在住。



### ○映像のロケ地

男鹿市の船越海岸

※ 選定理由：人工物が撮影に入らない広々とした風景と、その美しさにより選ばれたそうです。



### ○公開日時

11月1日（日）～28日（土）

秋田駅改札上サイネージ：始発から終電まで随時

トピコ壁面プロジェクション：17:30、18:00、18:30、19:00 の計4回

※ 状況により変更する場合がございます。